



学び合い、響き合う、つばさの学習の秋

校長 浅野 博一

9月、子どもたちの笑顔がたくさん輝きました。

夏休みが明けてすぐ、5年生「自然の教室」。天候が心配されましたが、星空観察以外は全て実施できました。大自然の中、仲間たちとの絆を深め、スローガン【協力して友情を深め、自然と触れ合い、最高の思い出をつくろう】に向かって、力を合わせた子どもたちは、一回りも二回りも高学年らしく逞しくなって帰って来ました。

9月14日(日)西関東吹奏楽コンクール。吹奏楽部の子どもたちは、これまで音楽にかけてきた精一杯の情熱を最後の最後の1音まで、全て出し切りました。

…見事、ゴールド金賞を受賞。
西関東代表の2校の中に選ばれ、
10月12日(日)に、山形県で開催される「東日本学校吹奏楽大会」に出場して参ります。地域の有志の皆様から、吹奏楽部保護者会へ、胸の熱くなる心温かいメッセージとご支援金を賜りました。遠征のため楽器を2日間に渡りトラックで運搬するには多くの費用を要するところ、ご厚志が大きな助けとなりました。大会本番まで、更に演奏に磨きをかけ、当日は、皆さまからのご声援を胸に、子どもたちが本気の本気の演奏を披露して参ります。

9月25日(木)26日(金)、6年生「修学旅行」。卒業まで半年となった子どもたちは、かけがえのない友情を深めることができました。
また、体調不良等で参加がかなわなかった仲間たちにも思いをはせ、これから先の運動会・つばさっ子まつり・はばたきの会…と、仲間と一緒につばさ小を羽ばたいていくことへの決意を固めました。

さて、明日よりは10月。“学習の秋”でもあります。
子どもたちには、1時間1時間の真剣勝負の“授業”において、多様な他者の考えに触れ、自分の考えを説明できるようになってほしいと願います。

わたくしの教諭時代、研修主任を務めていた頃、学校課題として、国語科の研修に取り組んでいた時のことです。NHK「わくわく授業」で、6年生国語「説明的な文章」…広辞苑の初版は、なぜ、14年もの歳月をかけて完成したのか…を偶然、自宅で録画し、「なんて素晴らしい国語教室なのだろう」と感じ、学校で全職員で視聴しました。

…「こんな語り合う国語の授業を自分たちでも実現したい!」こうした願いから、研修主任のわたくしが、その学校にラブレターを書くことになりました。すると、胸の熱くなる返事と共に、膨大な研修資料が送られてきました。熊本県宇城市立松橋小学校は、国語科で文部科学大臣賞を受賞した、全校を挙げて国語科の授業研究に取り組む学校であることが分かりました。6年生の国語科授業は、1年生からの積み上げの姿であったのです。

中心となるのは、「2人対話」と「全体対話」です。
1時間の授業の中で、自分の考えを声に出して一度もアウトプットすることがないのではなく、必ず、声に出して説明すること。…これは、東京大学 市川伸一 名誉教授の推奨する“教えて考えさせる授業”にも通じるものです。松橋小の全体対話は、発言者が教師に向かって説明するのではなく、同じ教室の仲間たちに向かって説明していました。教室の仲間たちは、説明する仲間の方を向き、しっかり目を見て、うなずいたり、首をかしげたり、反応しながら（自分の頭を働かせながら）聴いていました。

つばさ小の学習の秋。…子どもたちが、学び合い、響き合う学習の実現に向け、わたしたち教職員も、全力投球して参ります。

おめでとうございます!

◆第31回西関東吹奏楽コンクール

【金賞】 つばさ小学校吹奏楽部

※つばさ小吹奏楽部は、西関東代表として、10月12日(日)に山形県やまぎん県民ホール(山形県総合文化芸術館)にて開催される第25回東日本学校吹奏楽大会に出場いたします。

◆歯・口の健康啓発標語コンクール

【入賞】

◆さいたま市児童生徒発明創意くふう展

【特選賞】

【入選】

◆日進駅ステーションギャラリー展示

日時: 9月17日(水)～11月12日(水)
場所: 日進駅南北自由通路展示ケース

【1年】
【2年】
【3年】
【4年】
【5年】
【6年】

つばさ小児童の活動(9月)

5年生「館岩自然の教室」

世界でひとつだけの思い出の作品(焼き板)ができました。

10組「生活単元学習」

算数を生かして分量を計算し、お月見会でおだんごをつくりました。

3年生「社会科見学」

昔の道具をたくさん体験でき、社会学習の関心が高まりました。

6年生「修学旅行」

卒業まであと半年。かけがえのない友情が深まりました。